

寄小学校の児童が松田小学校へ

今日からみんなともだち



初めての授業にドキドキ

初めて松田小学校の教室で授業を受けるとあって、少し緊張気味の寄小学校の児童を松田小学校の児童が温かく迎えました。まずは、お互いに自己紹介の時間を持つなど、交流授業ならではの光景が見られました。

地域を飛び越えての交流
6月13日(月)から17日(金)までの5日間にわたり、寄小学校(沼田芳宏校長・児童数58名)と松田小学校(山口喜彦校長・児童数472名)が交流授業を行いました。
交流初日となった6月13日、松田小学校体育館では、寄小学校の児童たちを迎える対面式が催されました。寄小学校の児童たちが入場すると松田小学校の児童たちが大きな拍手で迎え、お互いに校歌を歌い合うなど、終始、温かい雰囲気で行われました。
交流授業は、寄小学校の児童が松田小学校へ行き、松田小学校の児童と同じ教室で机を並べて一緒に授業を受けるというもの、今回は初の試みとなります。これは全教育活動を通して交流を深めることで、互いの良さを見つめ、学力向上や豊かな心の育成を図り、併せて、教職員が連携・協力することにより学習指導方法や児童指導等のあり方について研究を深め、相互の資質

両校長先生の交流への思い

■松田小学校 山口校長
寄小学校の児童とふれあうことで、「相手を知る」「新たな人間関係を作っていく」「つまり人間理解をより大切にしていきたいと考えています。子どもたちも仲良くなって、大人になっても交流できるということが大事だと思います。」

■寄小学校 沼田校長
寄の児童は少人数のため、人間関係が固定的になってしまいうという心配があります。多くの人と接することを通して、自分を見つめ直し、新たな自分をつくる良い機会だと考えています。

向上を図ることを目的とし、今年度新たに取り組む事業です。
また、この交流授業は児童だけでなく教職員同士の交流・連携も強化されますので、11月にも実施する予定です。

寄小学校の児童たちが松田小学校前に到着



対面式を前に心躍らせる寄小学校の児童



対面式ではお互いの校歌を披露

